

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改善要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言						
						歩道 整備	カラー 化	外側 線 設置	横断 歩道 設置	看板 設置				その他	歩道 整備	カラー 化	外側 線 設置	横断 歩道 設置			看板 設置	その他				
大山北小	1	市道	新規	大山写真館北側の交差点(東丸の内)	・令和3年度より、通学路として東西に横断している。南北に車の通行量が多い。そのため、運転手に対して、歩行者(児童)が横断する意識と周知を高めたい。横断歩道が新設できない場合は外灯の支柱に児童横断の周知を図る看板を設置したい。看板は学校が用意する。							○	○	—	大山警察署 防災交通課						○	○	・横断歩道について道路が景観を意識した造りになっており、歩行者が自由に歩いている状況がある。横断歩道を設置するならば道路を整備して路側帯とガードレールを設置しないとイケない。観光客は自由に横断できなくなる。(大山警察署) ・啓発看板2枚を設置しました。(防災交通課)	道路自体が、多様な歩行者が存在していることをドライバーにアピールする景観舗装になっている。横断歩道の設置は、歩行者の横断はそこだけという制約を課することになる。ここでの横断歩道の設置は適さないとと思われる。		
大山北小	2	市道	新規	瓦坂(東丸の内)	・雨天時や積雪時など、路面が非常に滑りやすくなり、児童や歩行者の転倒の恐れがあり、危険な状況である。		○							—	土木管理課							○		・滑り止めのために舗装部への切り込み等を実施する予定です。(土木管理課)	歩行者側でもここは滑りやすいことを理解しておくことが望ましい。	
大山北小	3	市道	新規	天白橋北側の交差点(丸山天白町)	・現在通学路である大山3号路切の拡張等の要望が不可能となっている。多数の児童が通行するため、別ルートを加えるなど通行者数を減らす対応をしたい。 ・天白橋北側の交差点に、東西方向の横断歩道を設置することで郷瀬川沿いの道路を通行する通学路としたい。児童の下校所要時間の短縮にもなる。									○	○	—	大山警察署 土木管理課 防災交通課 学校教育課						○	○	・歩道、ガードレールで待避場所を設置しないと横断歩道は設置できない。歩道を整備すると道幅が狭くなり、車両の交互通行ができなく困難になる。通学路を分散すると色々な場所から児童が道路に出てくる事になり危険な面がある。(大山警察署) ・通学路の変更が明確になればカラー化について検討していきます。(土木管理課) ・啓発看板設置については、横断歩道の設置時となるため、今回は見送りとさせていただきます。(防災交通課)	少し、距離が長くなっても比較的安安全性の高い経路に対して集中的に種々の対策を重ねていくことが望まれる。横断歩道は、歩行者ネットワークの一部ではない。歩行者ネットワーク(通学路ネットワーク)全体の妥当性かの検討も必要である。
大山北小	4	市道	新規	白帝橋北西(丸山天白橋)	・遠距離通学児童の最短ルート確保と要望順位6の大山警察署北側の混雑回避のため、南北に横断歩道を設置し、通学路として通行できるようにしたい。									○	—	大山警察署							○		・見通しがよく交通量も少ないので横断歩道を設置しなくてもしっかり止まって左右を確認すれば横断は可能である。一般の歩行者もほとんど見掛けないので横断歩道を設置する必要性が低い。(大山警察署)	交差点における安全確認の方法を歩行者が体得すること、自動車が存在があれば、歩行者から横断の意思を運転者に伝える方法を体得することが望ましい。
大山北小	5	市道	新規	小島橋付近から藪下の交差点まで、郷瀬川沿いの歩道(小島町)	・歩道に設置してあるフェンスの所々が川の方角に斜めに傾いている。 ・児童が通行する際、段差を避けて通行するため、車道に降りてしまう場合があり、危険が生じている。 ・フェンスを外側に押し出している枯木や古木を伐採する。		○								—	整備課 土木管理課							○	○	・歩道やフェンスに影響している桜の伐採を行う予定です。(整備課) ・今年度、県道春日井各務原線東側T字路(藤原商店東付近)の歩道と車道の間にガードパイプを設置する予定です。また、同区間のサクラ伐採【整備課】と川側フェンスの張替、歩道舗装の打ち換えを実施する予定です。(土木管理課)	管理者間の連携を期待します。
大山北小	6	県道	新規	大山警察署北側のスクランブル交差点(松本町)	・多くの児童が通行する交差点であり、歩行者青信号で通学班全員が横断できず、列が寸断される場合がある。									○	—	大山警察署							○		・歩行者の青信号の時間はすでに改良済みでこれ以上時間延長することはできない。点滅した後の全部赤の信号の時間も最大限の4秒に延長をしている。【校長先生から相談があり説明済み。】(大山警察署)	歩行者側での工夫も必要と思われます。例えば、グループを一時分割して横断し、横断後にグループを再開する。
大山北小	7	県道	新規	梅坪跨線橋	・交通量が多く、最近では交通事故が増加してきている。登校時間帯には、コンビニエンスストアへの配達トラックが入ったり、利用客が多い。									○	—	大山警察署							○	○	・交通量が多く、車両のスピードが出て危険なのは把握している。過去5年間で右折と自転車、歩行者の人身事故は発生しておらず。右折分離信号の要望は本部に申請するが事故が実際に発生している信号器から設置が進む。(大山警察署)	幹線道路同士の交差点で交通量が多いことは理解できる。自動車向けの信号処理となっているかもしれないが、ここでの安全な歩行者横断方法を体得してほしい。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言								
						歩道 整備	カラー 化	外 側 線 設 置	横 断 歩 道 設 置	看 板 設 置				その他	歩道 整備	カラー 化	外 側 線 設 置	横 断 歩 道 設 置			看 板 設 置	その他						
大山南小	1	市道	新規	大山市中山町一丁目と赤鍋・出口の境となる市道の西側の駐車場から西へ名鉄犬山線踏切まで	・たいへん狭い道路が通学路になっている。朝の登校時も夕方の下校時も車の通行が多い。グリーンベルトがあるが消えてしまっている区間もある。注意喚起のためにぜひとも塗りなおしをお願いしたい。		○	○					1	土木管理課 大山警察署 防災交通課							○	○	○	○	○	・今年度にグリーンベルトの拡幅、外側線・停止指 導線の引き直しを行います。(土木管理課) ・止まれの表示が薄くなっているが踏切の前の「止 まれ」は今後補修しない。踏切があるのが明らかで あるため。(大山警察署) ・停止指導線等の引き直しを、今年度中に行う予定 です。(防災交通課)	今後とも、管理状況の共有を期待します。	
城東小	1	市道	継続	富岡字西木戸西側と富岡新町3丁目東側の境界線道路と郷瀬川北道路のぶつかった交差点	・生活道路にかかわらず、砂利道が舗装されたことで裏道として利用するドライバーが多く なった。 ・倉庫の持ち主の高木様のご厚意により「とび 出し注意」の看板を掲げてもらっている。 ・通過児童20名 ・特に下校時、間の細い通路から車道へ右折す る時に加速してきた自動車と接触する危険があ る。自動車から子どもたちがわかりにくいし、 特に東から西に向かって通行するときは見えな い。								5	防災交通課 土木管理課								○	○	○	○	・啓発看板は令和3年度に対応済です。 反射鏡の設置は、見通しが良いため見送りとさせて 頂きます。なお、歩行者・自転車を確認するための 反射鏡設置について、基本的に道路の端を通行する 歩行者・自転車は、反射鏡の死角に入り、反射鏡に 映らないことが殆どです。その結果、車両の運転者 には歩行者・自転車が「いない」という誤認のまま 交差点へ進入することになり、かえって反射鏡の設 置が事故を起こす原因になる可能性があります。 また、反射鏡は基本的には自動車の目視確認が困難 な場合に自動車から他の車両又は歩行者を確認す るものであると考えているため原則歩行者・自転車用 に角度を調整することはいけません。(防災交通 課) ・街路灯につきましては、設置可能箇所への設置は 完了しています。(土木管理課)	運転者に歩行者の存在を知らしめるために は、反射鏡よりも実際に見えることが有効 だと思います。そのためには、歩行者側で 「飛び出し」しないこと、一旦立ち止まり 、安全確認後、通行することを奨励しま す。	
城東小	2	市道	継続	城東小学校と城東中 学校の間の道北10 0m地点付近	・朝夕の登下校時間帯は、県道への抜け道として 自動車が通行したり、小中学生の送り迎えの 車がすれ違うことがある。 ・通過児童550名 ・道幅が狭いのにスピードを出して通る自動車 が多く、たいへん危険である。 ・集団で歩く児童の存在を知っている車同士なら 、スピードを緩めてくれるが、自分のことし か考えていない運転手の場合、スピードを出し たまま突っ込んでくる。		○				○	○		2	防災交通課 土木管理課								○	○	○	○	・啓発看板1枚を設置しました。 反射鏡の設置は、見通しが良いため見送りとさせて 頂きます。なお、歩行者・自転車を確認するための 反射鏡設置について、基本的に道路の端を通行する 歩行者・自転車は、反射鏡の死角に入り、反射鏡に 映らないことが殆どです。その結果、車両の運転者 には歩行者・自転車が「いない」という誤認のまま 交差点へ進入することになり、かえって反射鏡の設 置が事故を起こす原因になる可能性があります。 また、反射鏡は基本的には自動車の目視確認が困難 な場合に自動車から他の車両又は歩行者を確認す るものであると考えているため原則歩行者・自転車用 に角度を調整することはいけません。(防災交通 課) ・今年度、「児童注意」の路面標示を設置します。 (土木管理課)	路面標示の効果を期待します。
城東小	3	県道	継続	富岡ひばりヶ丘桜橋 県道御嵩大山線	・県道は善師野から大山駅方面へ抜ける通勤路 である。特に児童の登校時間帯は、非常に多く の自動車が通行する。堤面の踏切を越え、横松 橋を渡った車が加速する所である。 ・横断歩道があるが、特に朝の登校時、自動車 が止まらない。過去には我慢できなくなった児童 が強引に道路を横断し事故も何件か起きてい る。									3	大山警察署 一宮建設事務所									○	○	○	・待避場所と信号設置スペースがないため、難し い。(大山警察署) ・令和3年度 カラー舗装実施済み。(一宮建設事 務所)	現時点で対応可能な対策は講じられてい る。横断方法に何らかの工夫を考える必要 があると思われる。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言		
						歩道 整備	カラ ー化	外 側 線 設 置	横 断 歩 道 設 置	看 板 設 置				その他	歩道 整備	カラ ー化	外 側 線 設 置	横 断 歩 道 設 置			看 板 設 置	その他
城東小	4	県道	新規	大山市大字善師野字三軒寺から字横松までの県道善師野西北野線の北側歩道	大きな亀裂が数年前から入っている。 ・通過児童500名 ・歩道の亀裂は年々大きくなり、いつ崖崩れが起きてもおおしくない状況である。	○						・一日も早くこの歩道のひび割れを補修してもらいたい。	-	一宮建設事務所	○						・歩道舗装を行いました。(一宮建設事務所)	今後も維持管理をよろしくお願ひします。
城東小	5	市道	新規	善師野2丁目善師野駅周辺の側溝	・田んぼ沿いの側溝がふたがなく所々あいている。朝の時間帯に善師野駅への送迎で自家用車の通行もある。 ・側溝に落ちると、その先の田んぼでは電気柵まで設置されているところがあり、感電の危険性もある。通行児童450名						○	・側溝に蓋をしてほしい。 ・ガードレールを整備してほしい。 ・薄い金属板の蓋をもう少し重いものにするか、動かない仕様にしてほしい。	-	土木管理課						○	・側溝蓋については、隣接の田んぼの用水路であり、用水路は詰り等の確認ができるよう管理土開渠が基本となりますので蓋の設置はできません。 ・ガードレールについても水路と道路の段差が大きいわけでもなく、耕作者の出入りもありますので設置は行いません。(土木管理課)	用水路は蓋無し、出入り自由が基本です。自動車と歩行者とのすれ違い時の対応方法を検討する必要があるようです。
今井小	1	市道	継続	大山市大字今井字1丁目付近(丸山交差点より50mほど東)	・令和3年度より、この横断歩道を活用して児童が登校している。今まで4年ほど工事の関係で児童が通らなかった横断歩道であるため、ドライバーの認識が薄いためか、スピードを出して走る車が多い。		○					・横断歩道手前のカラー舗装等の対策	2	土木管理課 学校教育課						○	・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示ください。(土木管理課)	歩行者側から自動車運転者への横断の意思表示も必要と思います。
今井小	2	市道	新規	大山市今井2丁目付近	・毎日、子供たちが渡る橋。腐食している。雨や雪の日は滑りやすい。	○						・腐食している部分の補修	-	整備課						○	・当該橋梁は市道認定がなく、市で管理しているものではありません。(整備課)	引き続き、安全指導を継続してください。
今井小	3	県道	新規	大山市今井字山神洞付近	・朝は特に交通量が多い。スピードも出している。横断歩道がないので、歩道のある方へ横断することもできない。飛び出し注意の看板があるが目につきにくい。また、歩道の白線が消えている箇所あり。	○						・歩道整備	-	一宮建設事務所						○	・白線については、現地調査し、優先順位をつけ随時対応していきます。(一宮建設事務所)	見通しのいいところでの横断を工夫してください。
今井小	4	市道	継続	大山市大字今井字3丁目付近(今井駐在所北に伸びる道路)	・アスファルトが劣化し、かなりでこぼこ道となっている。	○						・道路舗装のやり直し	4	土木管理課	○						・今年度中に舗装の打ち換えを行います。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答									
						歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置	看板 設置			その他	歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置	看板 設置	その他	内容	アドバイザー助言	
栗栖小	1	市道	新規	大山市大字栗栖字尾崎・寺前・草野地内	<ul style="list-style-type: none"> ・県道栗栖犬山線から続く市道であるが、栗栖区内に於いては、朝夕の交通量の多い道路であり、一部が上地区から通う通学路になっており、下校後も児童がよく利用する道路である。 ・県道を横断する必要があるが、横断歩道が設置されていない。 ・市道の白線がかなり見えづらくなってきているため、白線の引き直しが必要。 ・寺前・草野地内では白線が見えづらい部分が多い。 			○	○			1	大山警察署 防災交通課 土木管理課					○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・行き止まりの道なので通過交通は少ない。北側の設置要望箇所の道路が狭くなっているためここでしっかり止まって左右を確認して横断してください。(大山警察署) ・停止指導線の引き直しを、今年度中に行う予定です。(防災交通課) ・外側線の引き直しについては市内各所で要望を頂いている状況であり、交通量や危険度等により優先順位をつけ実施しております。今年度の施工は他地区をお行う予定ですが、次年度以降も引き続き要望の提出をお願いします。(土木管理課) 	見通しのいいところでの横断を工夫してください。	
栗栖小	2	県道	継続	大山市大字網鹿尾(不老閣付近～氷室交差点)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な要望であり、毎年対応をしていただいている箇所である。緩やかなカーブのうえ道路が狭くなっており、路側帯が十分確保できず、中学生の登下校時はもちろん、小学生を含む栗栖区の人々にとっても通行が大変危険である。 ・雨天時には、川側に大きな水たまりができ、中央線を越える車もあり、歩行者・自転車にとって危険を感じる。 ・栗栖側から氷室交差点方面に向かう際、道路右手の樹木に視界が遮られ、対向する自動車の確認が困難である。 ・寂光院へ向かう道路との合流地点であり、高低差もある場所であるため、道幅が狭く、歩行者や自転車の通行には危険が伴う。 ・排水用にコンクリートに切れ目はあるものの、大きな水たまりができるところがあり、そこに排水用の切れ目がない。 			○				○	2	一宮建設事務所						○	<ul style="list-style-type: none"> ・民地の樹木については、交通に支障のある場合、所有者に剪定をお願いしています。カーブミラーについては予算範囲内において、優先順位をつけ対応していきます。(一宮建設事務所) 	引き続き、安全指導を継続してください。
栗栖小	3	県道	継続	大山市大字犬山字北白山平(県道栗栖犬山線)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な要望であり、卒業した中学生が通学路として利用し、栗栖区民や保護者からも毎年、強く要望の出ている箇所です。 ・現在、大型自動車の規制をさせていただいているが、交通量の多さは変わらず、歩行者や自転車での通行が危険。・氷室交差点から犬山遊園駅までの区間に、歩道がなかったり、道幅が大変狭くカーブになっていたりする危険箇所があり、通行が大変危険な箇所である。 			○				○	3	一宮建設事務所						○	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線については、地元栗栖地区からも要望があり、過年度に概略検討した結果、改修要望区間は木曾川に係る厳しい自然条件や名古屋及び愛知県庁企業庁の取水施設が支障となるなどの要因により、現道を生かしながらの張り出し歩道の整備は厳しい状況です。今後まずは、現道の幅員の中において車両空間と歩行者空間のあり方を如何にしていくかの基本的な方向性を大山市と相談しながら、ご要望区間に対する交通対策について検討してまいります。(一宮建設事務所) 	自然公園のため、開発行為(例えば、道路幅員)はできません。自然公園としての通路整備が必要な場合があるかどうか。
栗栖小	4	県道	継続	大山市大字栗栖字草野(県道栗栖犬山線)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に木曾川岸の竹林伐採の工事が行われた。これまでは、竹と樹木が生け垣のようになっていたが、伐採により、道路と川岸を隔てるものがなくなった。道路と川岸には高低差がある地点であることや道路が緩やかにカーブしている地点でもあり、転落事故の危険性があると考える。 							○	4	一宮建設事務所						○	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査し、優先順位をつけ対応していきます。(一宮建設事務所) 	引き続き、安全指導を継続してください。
栗栖小	5	市道	新規	大山市大字栗栖字野口・瀬ノ土地内	<ul style="list-style-type: none"> ・県道栗栖犬山線に接続する市道であり、一部が垣ノ内地区から通う通学路になっている。通学路の表示看板があるが色あせてきており、確認しづらい状況である。 ・市道の白線がかなり見えづらくなっているため、白線の引き直しが必要である。 ・栗栖小学校正門前横断歩道南側の道路標示が一部消えているため塗り直しが必要である。 			○	○				1	防災交通課 土木管理課					○	<ul style="list-style-type: none"> ・停止指導線の引き直しを、今年度中に行う予定です。通学路標識の取替についても、今年度中に行う予定です。(防災交通課) ・外側線の引き直しについては市内各所で要望を頂いている状況であり、交通量や危険度等により優先順位をつけ実施しております。今年度の施工は他地区をお行う予定ですが、次年度以降も引き続き要望の提出をお願いします。(土木管理課) 	今後とも、管理状況の共有を期待します。	

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改善要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言		
						歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置	看板 設置				その他	歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置			看板 設置	その他
羽黒小	1	県道	継続	旧41号羽黒駅西、 羽黒交差点	・交通量が多く、大型トラックも頻繁に通る。歩道はあるが、ガードレールや柵は設置されていない。昨年度より、少しずつ柵の設置が進んでいるが、通学路には設置がほとんどされていない。交差点で信号待ちをしている児童らに車が突っ込むことも考えられ、大変危険である。						○	・ガードレールや安全柵の設置	3	一宮建設事務所						○	・現状の幅や形状であるとガードパイプの設置は難しいです。(一宮建設事務所)	引き続き、安全指導を継続してください。
羽黒小	2	市道	新規	池ノ向交差点南、県 道斎藤羽黒線の南側に 並行する道路	・それほど広い道ではないが、池ノ向交差点の渋滞を避ける車が抜け道として利用する車が多くある。通学路である看板は設置されているが、通勤時間のためか、速度を落とさない車が児童のすぐそばを通ることもあり、危険である。		○					・道路の端をカラー化し、通学路であることを目立たせる。	-	土木管理課 学校教育課						○	・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示しください。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。
羽黒小	3	県道	新規	旧41号羽黒橋・歩 道橋	・歩道橋の表面が滑りにくく加工はしてあるが、剥離している部分があり、雨が降ると滑りやすい。また、老朽化している痕跡も見られ、修繕が必要であると思われる。		○					・歩道橋の修繕	-	一宮建設事務所						○	・歩道橋においては、管内の歩道橋を長寿命化の観点から優先順位をつけ対応しております。(一宮建設事務所)	引き続き、安全指導を継続してください。
羽黒小	4	市道	新規	大字羽黒字寺浦 三 進製作所工場南東交 差点	・工場の塀が高く、交差点の見通しが良くない。通行する車も多く、出合い頭の事故が起きる危険がある。		○					・カーミラーを設置する。 ・道路の端をカラー化し、通学路であることを目立たせる。	-	防災交通課 土木管理課 学校教育課						○	・反射鏡の設置は、見通しが良いため見送りとさせていただきます。なお、歩行者、自転車を確認するための反射鏡設置について、基本的に道路の端を通行する歩行者・自転車は、反射鏡の死角に入り、反射鏡に映らないことが殆どです。その結果、車両の運転者には歩行者・自転車が「いない」という誤認のまま交差点へ進入することになり、かえって反射鏡の設置が事故を起こす原因になる可能性があります。また、反射鏡は基本的には自動車の目視確認が困難な場合に自動車から他の車両又は歩行者を確認するものであると考えているため原則歩行者・自転車用に角度を調整することはありません。(防災交通課) ・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示しください。(土木管理課)	運転者に歩行者の存在を知らしめるためには、反射鏡よりも実際に見えることが有効だと思います。そのためには、歩行者側で「飛び出し」しないこと、一旦立ち止まり、安全確認後、通行することを奨励します。
羽黒小	5	市道	新規	羽黒新田 八幡公園 西側交差点	・住宅が多くある地域で、道幅は広くないが、通行する車は多い。交差点の見通しは悪く、カーミラーは設置されているが小さくて見にくい。出合い頭の事故が起きる危険がある。		○				○	・カーミラーを見やすいものに変更する。 ・看板を設置したり、道路の端をカラー化したりして、通学路であることを目立たせる。	-	防災交通課 土木管理課 学校教育課						○	・反射鏡の取替については、十分に機能をしており、大きいものに取替はすると、大型の車両の接触が起こる可能性が高まるため、見送りとさせていただきます。 啓発看板(1〜2枚)については、今年度中に行う予定です。(防災交通課) ・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示しください。(土木管理課)	運転者に歩行者の存在を知らしめるためには、反射鏡よりも実際に見えることが有効だと思います。そのためには、歩行者側で「飛び出し」しないこと、一旦立ち止まり、安全確認後、通行することを奨励します。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改善要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言		
						歩道整備	カラー化	外側線設置	横断歩道設置	看板設置				その他	歩道整備	カラー化	外側線設置	横断歩道設置			看板設置	その他
楽田小	1	市道	新規	大山市城山(楽田小正門前)	・「抜け道として車が通行していること」と「近隣高校生の通学の時間」と、「本校の児童の登校の時間」が重なって、大変危険な状態である。注意喚起の案内も少なく、運転手の危険であるという意識も低い。この場所の危険性を、通行者(自転車・自動車)に周知する必要がある。 ※通過人数 280名程度		○					・カラー舗装 ※全方向一旦停止、交差点内ゼブラゾーンの設置	-	土木管理課 学校教育課						○	・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示しください。(土木管理課)	不成形で狭い道路が続く住宅地である。一方通行化は無理であるが、コミュニティゾーン30などの地区全体の交通静穏化対策の検討が必要と思われる。
楽田小	2	市道	新規	大山市二宮	・交通量が非常に多く、スピードも出ている車が多い。歩道を通っていても大変危険である。横断歩道も止まらない車も多い。抜け道として利用しているドライバーに、この場所の危険性を周知する必要がある。また、物理的にスピードを落とすような仕組みが必要である。 ※通過人数 20名程度						○	・横断歩道に信号、ハンブ等の設置	-	大山警察署 土木管理課						○	・富岡荒井線の開通により交通量は減る。歩行者の利用も少ない。信号を設置するスペースがないことから設置は行いません。(大山警察署) ・ハンブにつきましては、通行する際の振動や音が発生するため近隣住民の理解が必要となりますので、市内でもあまり設置はしていません。 対策としては視認で注意喚起を促すカラー舗装が望ましいと考えますが、各小中学校から多く要望をいただいております。要望箇所より危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。(土木管理課)	歩行者側から自動車運転者への横断の意思表示も必要と思います。
楽田小	3	市道	新規	大山市字山崎(薬師前交差点)	・交通量が非常に多く、スピードも出ている車が多い。歩道を通っていても大変危険である。横断歩道で止まらない車が多い。抜け道として利用しているドライバーに、この場所の危険性を周知する必要がある。また、物理的に児童を守る仕組みが必要である。 ※通過人数 35名程度		○				○	・カラー舗装、ガードレールの設置	-	土木管理課 学校教育課						○	・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。要望箇所より危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。箇所や位置を明確にお示しください。 ・ガードレールにつきましては、今年度設置できるよう現在調整しています。(土木管理課)	種々の安全対策が施されている交差点だと思います。
楽田小	4	市道	継続	大山市字的場(東洋ファイン前五叉路)	・児童の登校時間帯に、通勤の抜け道として通行する車両が多い。児童130人あまりがこの交差点を通過するが、特に、東洋ファイン南から登下校する児童は、どの方向から来る車両の確認もしづらい。さらに、北西側から来るが、一気に停止線まで進入してくる。 また、角の家の建て替えにより、視界が悪くなった。 児童は、車両の切れ目が分かりづらいため横断しにくい。PTA委員や地区の交通当番が立てる日は、誘導していただいているが、児童だけで通行している場合は大変危険である。 視界不良と、マナー改善が必要である。		○					○	・視界の悪い部分は、カーブミラーの設置 ・さらなる注意喚起のための、カラー舗装	1	防災交通課 土木管理課 学校教育課					○	・反射鏡の設置は、見通しが良いため見送りとさせて頂きます。なお、歩行者・自転車を確認するための反射鏡設置について、基本的に道路の端を通行する歩行者・自転車は、反射鏡の死角に入り、反射鏡に映らないことが殆どです。その結果、車両の運転者には歩行者・自転車が「いない」という誤認のまま交差点へ進入することになり、かえって反射鏡の設置が事故を起こす原因になる可能性があります。 また、反射鏡は基本的には自動車の目視確認が困難な場合に自動車から他の車両又は歩行者を確認するものであると考えているため歩行者・自転車用は角度を調整することは行いません。(防災交通課) ・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示しください。(土木管理課)	現時点で対応可能な対策は講じられている。横断方法に何らかの工夫を考える必要があると思われる。
楽田小	5	市道	新規	大山市東北野	交通量が多い。抜け道として利用して利用しているドライバーに、この場所の危険性を周知する必要がある。 ※通過人数 35名程度		○					・長谷川酒店前のカラー舗装、グリーンベルトの設置	-	土木管理課 学校教育課						○	・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示しください。(土木管理課)	この東西の道は抜け道というよりは、踏切につながる重要な道といえます。よって、それなりの交通量が発生すると思います。それを前提に種々の対策、対応をしていくことになると思います。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言		
						歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置	看板 設置				その他	歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置			看板 設置	その他
楽田小	6	県道	継続	主要地方道春日井各務原線 西北野交差点	・現場は旧41号線と工業団地、41号線バイパスをつなぐ交差点である。自家用車のみならずトラックなどの大型車の交通量も非常に多く、特に旧41号線を北上してきた車が多く左折する。 ※児童10名程が通過する。 ・現場南西の角には緑石もガードレールもなく、信号待ちで止まっている歩行者や自転車の目の前を大型車が通過する。特に内輪差の意識のない小学生にとってはたいへん危険である。						○	4	一宮建設事務所 土木管理課						・現状の幅や形状であるとガードパイプの設置は難しいです。(一宮建設事務所) ・交差点を南下する車両への注意喚起のために、交差点の巻き込み箇所にラバーポールを設置します。(土木管理課)	信号設置されているので、赤信号時での歩行者待機の場所は少し下がった位置を取るなどの工夫も検討してください。		
楽田小	7	市道	新規	大山市字内久保(久保橋)	・前田から内久保の間の市道を30名ほどの児童が通学している。名古屋経済大学を利用している車や小牧市久保一色に抜ける車が多く通行する。道幅も狭い。 さらにこの場所は横断歩道がない。道幅も狭い。 道幅が狭いため、往來する車両がある場合、通学児童が車両に巻き込まれ、現実にも、事故等も多く発生している。 注意喚起となる表示が必要だろう。					○		-	大山警察署					○	・橋の周辺は待避スペースと信号の設置スペースがないので横断歩道は設置できない。(大山警察署)	注意喚起での対応が妥当と思われます。		
楽田小	8	市道	新規	大山市字前田面	前田から内久保の間の市道を30名ほどの児童が通学している。名古屋経済大学を利用している車や小牧市久保一色に抜ける車が多く通行する。道幅も狭く、歩道を示す白線が消えかかっているところが多い。 道幅が狭いため、往來する車両がある場合、通学児童が車両に巻き込まれ、現実にも、事故等も多く発生している。 内久保から、名古屋経済大学へ入る交差点では、車だけでなく、バイクの往來も多い。一時停止せずに膨れ上がって右左折する。						○	○	○	-	防災交通課 土木管理課		○		○	○	・啓発看板2枚を設置しました。 反射鏡の設置は、見通しが良いため見送りとさせて頂きます。なお、歩行者・自転車を確認するための反射鏡設置について、基本的に道路の端を通行する歩行者・自転車は、反射鏡の死角に入り、反射鏡に映らないことが殆どです。その結果、車両の運転者には歩行者・自転車が「いない」という誤認のまま交差点へ進入することになり、かえって反射鏡の設置が事故を起こす原因になる可能性があります。 また、反射鏡は基本的には自動車の目視確認が困難な場合に自動車から他の車両又は歩行者を確認するものであると考えているため歩行者・自転車用は角度を調整することは行いません。(防災交通課) ・今年度交差点部及び路肩のカラー舗装を実施しました。(土木管理課)	運転者に歩行者の存在を知らしめるためには、反射鏡よりも実際に見えることが有効だと思います。そのためには、歩行者側で「飛び出し」しないこと、一旦立ち止まり、安全確認後、通行することを奨励します。
楽田小	9	県道	新規	大山市田原	抜け道となっていて、速度制限を超えた車が多数通る。抜け道として利用しているドライバーに、この場所の危険性を周知する必要がある。 ※通過人数 15名程度						○	-	一宮建設事務所					○	・令和4年度よりカラー塗装による注意喚起は国から指定を受けた箇所のみを施工しています。(一宮建設事務所)	引き続き、安全指導を継続してください。		

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改善要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答											
						歩道 整備	カラ ー化	外 側 線 設 置	横 断 歩 道 設 置	看 板 設 置				その他	歩 道 整 備	カラ ー 化	外 側 線 設 置	横 断 歩 道 設 置	看 板 設 置	その他	内容	アドバイザー助言			
池野小	1	県道	継続	県道多治見犬山線の 字裏山付近から 池野の信号までの歩 道	・歩道脇の草が伸び、盛夏時には歩道の半分以上を覆い、通行しにくい。児童はトラックがかなりのスピードで多く通る道路側に寄ることになり、非常に危険である。 ※113名ほどの児童が利用。						○	・除草について、毎年1回は一宮建設事務所が実施してくれているが、それだけでは、追いつかないのが現状である。建設事務所は長年「1回分の予算しかない」と言い続けているが、一度実際に歩いて確認してみると、おそらくそのひどさが理解できる。2回目は、全区域でなくともいいので、部分的に実施してもらいたい。	1	一宮建設事務所							○	・予算の範囲内での対応になっております。ご理解ご協力をお願いします。(一宮建設事務所)	必要であるならば、管理者の許可を得たうえで、住民などによる除草作業も検討してはどうでしょうか。		
池野小	2	県道	継続	字秋下 池野小学校正門・交 差点付近	・6年前、白線引き直しと青線導入が行われたが、交差点南からの右折車の白線内へのみ出しは、十分改善されてはいない。正門前で多くの児童がいる可能性があるため、そこへの車両の突っ込み等への不安がある。 ※全児童114名が利用。						○	・根本的には道路拡幅事業の加速化 ・青線塗装部分の拡大	3	一宮建設事務所									・令和3年度より多治見側から道路拡幅による歩道設置事業に着手し、順次進めています。(一宮建設事務所)	引き続き、安全指導を継続してください。	
東小	1	市道	継続	合戦橋西側交差点 (大字羽黒銚添地 内)	・通勤の時間帯と重なって、登校時の自動車の交通量が多く、スピードも出ていて危険である。今のところ、保護者の旗当番が立って交通指導をしているが、ドライバーに注意喚起をしたい。 ※約160名の児童が通学する。						○	○	・通学路で、児童の横断があることを、ドライバーに注意喚起するための、看板等の設置 ・横断歩道を東西両方に設置するか、位置の東一をお願いしたい。	4	大山警察署 防災交通課							○	・現状、横断歩道の位置を変更することはできません。今ある横断歩道を有効活用してください。(大山警察署) ・土木管理課にて外側線設置の対策を行っているため、啓発看板設置については見送りさせていただきます。(防災交通課)	種々の安全対策が施されている交差点と思えます。引き続き、安全指導を継続してください。	
東小	2	市道	新規	東小学校正門前(羽 黒安戸西一丁目)	・舗装の痛みがあり、降雨があると冠水して大きな水たまりとなる。登下校で多くの児童が通過するが、傘をさして水たまりを避けながら歩くため大変危険である。 ※約200人が通学する。							○	・舗装整備をしていただき。水はけを良くしていただきたい。	-	土木管理課							○	・今年度に舗装の打ち換えを実施します。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。	
東小	3	市道	新規	郷瀬川沿い桜街道 (犬山市大字羽黒字 外山内)	・本校の長者町から通う児童が利用している桜街道だが、民家が少なく上に街路灯がない。 ※約110名が通学する。								○	・街灯等の防犯用の明かりの設置	-	土木管理課							○	・新郷瀬川は愛知県が管理する河川であり、堤防道路は愛知県河川の河川区域を占用許可を得て犬山市が使用しています。河川区域には構造物を設置する許可が必要となりますが、堤防道路にコンクリート基礎を設置し街路灯を建てることは堤防を保全する観点から許可を得ることが困難であります。(土木管理課)	歩行者が小型の照明器具等を携帯することも検討してください。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言					
						歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置	看板 設置				その他	歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置			看板 設置	その他			
大山西小	1	市道	継続	大山西小学校北交差点 (上坂町三丁目付近)	・南北の市道はたいへん交通量が増加している。しかし、この交差点については、東西方向にしか歩行者用信号機が設置されていない。 ※9名の子童が横断している。						○	・南北方向にも歩行者用信号機の新設をお願いしたい。 この件については、昨年度までも改善要望を出しているが、児童の安全な登下校のためにも早期の対応をお願いしたい。	1	大山警察署						○	・今年度中に歩行者用信号を設置して歩行者分離信号へ改良します。(大山警察署)	信号を順守し、無理な横断はしないようにしてください。			
大山西小	2	市道	継続	大山西小学校南交差点 (上坂町四丁目付近)	・南北の市道はたいへん交通量が増加している。しかし、この交差点については、東西方向にしか歩行者用信号機が設置されていない。 ※4名の子童が横断している。						○	・南北方向にも歩行者用信号機の新設をお願いしたい。 この件については、昨年度までも改善要望を出しているが、児童の安全な登下校のためにも早期の対応をお願いしたい。	2	大山警察署						○	・今年度中に歩行者用信号を設置して歩行者分離信号へ改良します。(大山警察署)	信号を順守し、無理な横断はしないようにしてください。			
大山西小	3	県道	新規	県道64号線沿い南東側 (上野米野地内)	・県道沿いに一部歩道がなく、グリーンベルトのみ設置となっている。 ※6名の子童が通行している。						○	・過去には実際に保護者と通行車両との接触事故も起きているため、一緒に登下校する交通指導員を増員していただきたい。増員が難しければ、歩車分離を図るためのガードレールまたは縁石などを設置していただきたい。	-	防災交通課 一宮建設事務所						○	・交通指導員は、一緒に登下校をすることは、行っておりません。 また、同じ区域に交通指導員を増員することは、不平等になるため見送りとさせていただきます。(防災交通課) ・基準幅がないので、歩車を分離する対策はできません。(一宮建設事務所)	引き続き、安全指導を継続してください。			
大山西小	4	県道	継続	大山西公民館北東T字交差点 (上坂町三丁目付近)	・現場交差点には横断歩道があるが、朝は交通量が多く、危険なため、児童は北笠屋交差点まで南進して登校している。道路わきにグリーンベルト舗装があるが、幅が狭くかえって危険である。そのため、一本東に入った細い道路を通して、北笠屋交差点に向かっていく。 ※2名の子童が登校している。						○	・T字交差点南側に歩行者横断用押しボタン信号を新設してほしい。あるいは、交通指導員を配置していただきたい。 ・北笠屋交差点に近すぎるため押しボタン信号の設置は不可能との指摘があるが、県道64号線の大門・上野石塚信号間【北笠屋(161m)・西三条(203m)】は離れており、距離が近いから不可能との指摘には当たらないと考える。	3	大山警察署 防災交通課						○	・一般の歩行者も少ない。南北道路も交通量が多く、歩行者用信号を設置する事により一帯がさらに渋滞する可能性がある。現在の信号の基準では信号機を設置する事は難しい。(大山警察署) ・同じ区域に交通指導員を増員することは、不平等になるため見送りとさせていただきます。(防災交通課)	引き続き、安全指導を継続してください。			
大山西小	5	市道	継続	上坂公園南口前T字交差点 (上坂町四丁目付近)	・この交差点は、北笠屋方面から登校する児童が北進して公園側に横断し、学校方面に向かう。朝は、公園南道路を東から来て南に抜けて通行する車の交通量が多い。特に、児童が登校する朝の時間帯は、横断するのに大変危険である。 ※140名の子童が横断している。						○	○	○	・南方向から公園側へ横断歩道を敷設していただきたい。また、児童横断注意喚起の標識を設置していただきたい。 ・大山警察署管内の扶桑町立扶桑北中学校正門前には、待機場所がないにも関わらず横断歩道が設置されている。待機場所が根本理由とは考えがたい。どうしても待機場所が必要であれば、上坂公園の敷地を改変して待機場所を設けた上で、横断歩道を設置していただきたい。	4	大山警察署 防災交通課 土木管理課				○		○	○	・待避場所を設置する路肩のスペースがない。横断歩行者を設置する程一般利用者がいない。(大山警察署) ・啓発看板は令和3年度に対応済みです。(防災交通課) ・今年度横断歩道ではありませんが、北側市道より公園に向けて歩行者の道路横断を促すカラー舗装、交差点の通行する車両へ向けての注意喚起カラー舗装を実施します。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言	
						歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道 設置	看板 設置				その他	歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道 設置			看板 設置
大山中	1	県道	継続	四日市交差点付近	<p>・『北小校区・栗栖小校区生徒の通学路』約100名利用(含自転車通学)</p> <p>交差点から南1kmのところにある跨線橋が数年前に完成したことで、通勤時間帯での自動車の交通量が多くなった。また観光客の増加で、通行量も年々増加する傾向にある。それに伴って、横断歩行者や自転車との接触事故の危険性が増している。</p> <p>特に、朝の通勤時間帯で、堤防道路の木曾川下流部(西)から右折のために交差点に入ろうとする自動車が増え、右折専用信号がないために、強引に右折したり、信号がすでに赤にもかかわらず無視して右折を試みたりする自動車が多い。横断歩道の通行人に接触する(接触しそうになる)事案も起きる可能性が高い(危険を促す標識などのサインはない)。</p> <p>また、南から交差点を右折して東に向かおうとする自動車についても、上記と同じような状況が見られ大変危険である(H29度・看板設置)。</p> <p>さらに、北から交差点を右折して西に向かおうとする自動車も増加傾向にあり、注意を呼びかける手立てが必要である(看板等なし)</p>						○	○	1	大山警察署 防災交通課					○	<p>・東側に西行き車線に右折レーンを設置するスペースがないので右折分離信号への改良はできません。さらに四日市交差点は交通量が多く、この信号に改良を加えると道路がさらに渋滞してしまい、通行車両が沿線の脇道生活道路に進入する危険性が出てくる。大山西小学校北交差点が本年度中に歩行者分離信号になるので西側へ横断する生徒は利用して頂きたい。(大山警察署)</p> <p>・啓発看板設置は、すでに4箇所設置しており、これ以上増やしても効果が薄いと考えられるため、今回は見送りとさせていただきます。(防災交通課)</p>	引き続き、安全指導を継続してください。
大山中	2	市道	継続	大山北古券 旧名鉄 大山ホテル北西角の 彩雲橋 ~ 迎帆楼 北端の大山城直下の 岩盤トンネルまで	<p>・『北小校区・栗栖小校区生徒の通学路』約40名利用(全て自転車通学)</p> <p>観光客の増加にともない、自動車の交通量が増えスピードも速い。また、彩雲橋手前の二又地点を、多くの自動車かなりのスピードで右折方向指示を出さずに通過する。さらに、道幅が狭いうえに、カーブしている道のため、自動車からは自転車や歩行者の発見が遅れる(これまで様々な対策をしていた)。トンネル付近、トンネル内の路面が、岩盤や山から染み出た水で、多くの時間(晴天時も)濡れていたり、夏場には、樹木や草が大きく生長している。</p> <p>自動車との接触事故や、木曾川への転落事故につながる危険性が高い。</p> <p>平日の朝夕は、中学生の自転車通学者が通行する。特に生徒の帰宅時は、自動車と自転車が対面しあう状況になり危険度が増す。</p> <p>トンネル付近やトンネル内の路面が常に濡れており、自転車通学者が滑って転倒することもあった。</p> <p>樹木や草が通行の妨げになっており、枝の崩落の心配もある。</p> <p>防犯上も、旧名鉄大山ホテルの撤去に伴い、街路灯が点かなくなり、真っ暗で危険性が増している。</p>						○	○	○	2	防災交通課 土木管理課				○	<p>・現在トンネル内が通行止めのため、看板設置についても見送りとさせていただきます。(防災交通課)</p> <p>・今年度に速度抑制を促すカラー舗装やグリーンベルトの設置を計画していましたが、トンネル内の落石事故により次年度以降へ先送りとなりました。トンネルの復旧工事と併せて計画していきます。(土木管理課)</p>	もともと無理が存在していた箇所と思いません。復旧工事が完成しても通学ルートの見直しを含めての検討が必要と思います。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言			
						歩道整備	カラー化	外側線設置	横断歩道設置	看板設置				その他	歩道整備	カラー化	外側線設置	横断歩道設置			看板設置	その他	
大山中	3	市道	継続	安田商店前交差点付近～万願寺西押しボタン信号付近	・『橋爪・五郎丸地区、通学路』約60名利用(含自転車通学) 朝・夕の登下校時間帯は、村田機械社員をはじめ通勤車両が非常に多い。片側の一部グリーンベルトが敷設されたものの、反対側は道幅の狭い箇所もあり、自動車、バイク、自転車、歩行者が混在し、いつも接触しそうになり、人身事故につながる危険性が非常に高い。また、万願寺交差点から自転車で左側を通行する生徒には、下り坂でありスピードが出やすく、小学生などの歩行者が押しボタン信号左側より出てきて滞留するため、何度も注意喚起を促している。また、既設の各種ラインも消えかかっているところがある。		○	○				○	3	防災交通課 土木管理課						○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発看板1枚設置を、今年度中に行う予定です。(防災交通課) ・今年度外側線の引き直しを実施します。(土木管理課) 	引き続き、安全指導を継続してください。
大山中	4	県道	新規	北笠屋交差点付近	・『東専正寺、西専正寺、第一桜ヶ丘等、通学路』約120名利用(含自転車通学) 朝・夕の登下校時間帯は、通勤車両が非常に多い。グリーンベルトが敷設されているが、南北の道路は道幅の狭く、自動車、バイク、自転車、歩行者が混在し、接触しそうな場面もあり、人身事故につながる危険性が高い。また、交差点が変則的な形であり、左折者、右折車、横断者が混在するため、渋滞も起きている。また、既設の各種ラインも消えかかっているところがある。		○	○			○	○	-	大山警察署 防災交通課 一宮建設事務所 土木管理課						○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道の表示はすでに補修済み。右折信号は新たに右折レーンを設置しなければならないが道幅が足りないので設置できません。(大山警察署) ・啓発看板2枚設置を、今年度中に行う予定です。(防災交通課) ・白線については、現地調査し、優先順位をつけ随時対応していきます。(一宮建設事務所) ・今年度外側線の引き直しを実施します。(土木管理課) 	引き続き、安全指導を継続してください。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言	
						歩道 整備	カラ ー化	外側 線設置	横断 歩道設置	看板 設置				その他	歩道 整備	カラ ー化	外側 線設置	横断 歩道設置			看板 設置
城東中	1	市道	継続	善師野 善師野駅から清水交 差点までの善師野川 沿いの農道	・舗装されておらず、足場が悪く、通行しにくい。また、善師野川が隣接しており、大雨時は増水し大変危険である。 ・舗装されておらず、足場が悪く、毎年多くの生徒が転倒しけがをしている。	○					○		土木管理課 学校教育課						○	・堤防道路につきましては、大山市道ではなく愛知県が管理する河川管理用道路となります。舗装を行うとなると愛知県との協議や管理区分を明確にし、許可を得なければならないため協議期間が必要となります。また、施工する費用も高額となることから、他小中学校要望との優先度をつけ計画年度を定めていく必要があります。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。
城東中	2	市道	継続	善師野 善師野駅南の善師野 川沿いの石碑横の橋	・橋が老朽化しており、危険である。令和元年度に滑り止めの補強工事をしていただいたものの、依然として危険である。 ・冬季は凍結し、毎年生徒が転倒してけがをしている。						○		整備課						○	・昨年行った点検の結果で一部の損傷が見つかったため、今後修繕を計画していきます。当面の通行に支障があり、通行を規制するような損傷ではありません。(整備課)	引き続き、安全指導を継続してください。
城東中	3	県道	継続	塔野地 塔野地大畔・犬山病 院西の主要地方道春 日井大山線	・道幅が狭い上に、特に朝は両側の交通量が多く、車がスピードを出して危険である。	○							一宮建設事務所						○	・現道当該路線の改修要望区間についての拡幅計画はなく、他に優先すべき箇所が多々ある中、交通量、歩行者数、危険度などを踏まえても、新規事業化は大変困難な状況です。 なお、昨年度、当該改修要望区間西端において大畔交差点(旧：杉交差点)の改良工事を行い、両側歩道を有する点滅ではない信号交差点となっております。(一宮建設事務所)	信号交差点を経由する通学路を検討してください。
城東中	4	市道	継続	富岡・丸山 富岡新門二丁目、石 田橋付近	・カーブで見通しが悪く、朝は特に車の交通量が多く、スピードを出して危険である。 ・注意喚起の看板はあるが、古く色あせたものもあり、ドライバーから認識しにくい。						○		防災交通課						○	・啓発看板は令和3年度に対応済です。(防災交通課)	引き続き、安全指導を継続してください。

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改善要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言		
						歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置	看板 設置				その他	歩道 整備	カラー 化	外側 線設置	横断 歩道設置			看板 設置	その他
南部中	1	市道	継続	南部中学校西門、西 北門付近 大山市大字羽黒新田 字畑田	・学校の正門、西門に面する道路で、たくさんの生徒が通学時に徒歩や自転車で通る道である。道路の両側に常に水が流れている用水路(幅50cm)があり、ふたがない。通学時は車の量が多い上に、道幅も狭いので自動車同士すれ違おうと、道いっぱいになる。そのため、自転車や歩行者との接触事故が起きても不思議ではない状況にある。実際に車をよけようとして、用水に落ちた生徒もいる。						○	・用水路の底に鉄柵などの工夫をして、用水路に落ちたとしても大げがにならないような対策してほしい。	1	土木管理課						○	・用水路は利水を目的としていることから詰り等の対応が迅速に行えるよう開水路での管理が原則となります。全線での対策は困難であるため、危険箇所を抽出いただき対策優先箇所を明確にしてください。(土木管理課)	用水路での事故防止対策は、種々の検討があるようです。管理者とともに可能な方法を検討してください。
南部中	2	県道	継続	さえら音楽教室前五 又路 大山市字西北野	・比較的多くの生徒が通る通学路で、朝の時間帯は県道北側からと市道西側からの自動車の通行が多い。		○				○	・狭い交差点で多方向から自動車が入り込んでくる。また、県道を通る車はスピードがかなり出ている。横断歩道に押しボタンス式の信号を設置してほしい。また、スピードの出し過ぎを注意するような表示と通学路であることが分かるような表示をして欲しい。	2	大田警察署 防災交通課 一宮建設事務所					○	○	・押しボタン信号については信号の設置スペース、歩行者の滞留場所、車両が安全にすれ違えるスペースがない。(大田警察署) ・啓発看板は令和3年度に対処済みです。(防災交通課) ・令和4年度よりカラー塗装による注意喚起は国から指定を受けた箇所のみを施工しています。(一宮建設事務所)	引き続き、安全指導を継続してください。
南部中	3	市道	新規	大山市字羽黒新田字 九右衛門屋敷の交差 点から西側の東西の 市道	・道幅が狭く、見通しの悪い東西の市道は、抜け道になっていて、登校時はかなり交通量が多い。		○					・グリーンベルトを塗り、自動車の減速を促して欲しい。	-	土木管理課 学校教育課					○	・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示しください。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。	
南部中	4	県道	継続	大山市字西唐曾西楽 田団地入り口交差点	・東西に走る県道は交通量が多く、北から東の方向へ左折する車が多い交差点である。時差式信号になっており、生徒がわたる信号は時間が短い。ここの交差点は、楽田小学校児童の通学路にもなっている。						○	・自転車通学者が、この交差点の東側を南北に横断している。東から南へ左折する車が、信号待ちをしている自転車のすぐ横を通るため危険を感じる。自転車が待機できるように歩道を広げ、ガードレールを設置して欲しい。	3	一宮建設事務所					○	・都市計画道路の整備に合わせて交差点改良となるので市と相談してまいります。(一宮建設事務所)	信号時間に合わせた横断方法(少人数に分けるとか)を工夫してください。引き続き、安全指導を継続してください。	
南部中	5	市道	継続	大山市大字羽黒字羽 黒高橋三丁目	・スピードが出やすい三又路で朝の時間帯は東西の道を利用する自動車が多い。		○	○				・朝の時間帯は幹線道路への抜け道になっていて、スピードを出して走る自動車が多いため歩行者の確認が遅れる可能性がある。本道は通学路であり、歩行者がよく通る道であることを示す必要がある。東西にのびる道路の北側の外側線を引き直して路側帯の幅を広げ、グリーンベルトを塗り直して欲しい。	4	土木管理課 学校教育課				○	・今年度外側線の引き直しを実施します。 ・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示しください。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。		

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言
						歩道整備	カラー化	外側線設置	横断歩道設置	看板設置				その他	歩道整備	カラー化	外側線設置	横断歩道設置		
東部中	1	市道	継続	羽黒『高見』の交差点から北へ向かう道路の横断歩道(羽黒小安の大朋建設付近)	・高見の信号から北方向の次の信号まで距離があるため、南北に通行する車両の速度は速い。横断歩道はあるが、通行する車両の速度が出ているため、停車する車は少ない。生徒が安心して横断できるようにしたい。 ※通行する生徒数は19名。		○					4	土木管理課						・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示ください。(土木管理課)	無信号横断歩道を安全に活用する策として、歩行者側が横断の意思表示を運転者側に示すことも重要という指摘があります。
東部中	2	市道	継続	県道188号線『赤坂』の信号東側20mの市道付近(堂ヶ洞 緑ヶ丘方面からの道路との交差点)	・この交差点は、特に朝の時間に、緑ヶ丘地区から坂道を下ってくる乗用車と前原・前原台方面から自転車登校をする生徒との接触の可能性があり危険である。坂道で、かつ見通しがよくないため『止まれ』の標識があるものの、地域の保護者からは事故の危険性があると何度も報告を受けている。		○					3	土木管理課 学校教育課					・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示ください。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。	
東部中	3	市道	継続	中部電力パワーグリッド(株)羽黒変電所付近の交差点(羽黒高屋・鉾添土街道)	・この道路は道幅が狭く見通しがよくない上、徒歩通学をする生徒の近くを速度の速い車両が通行するため、接触事故の危険性がある。また、横断歩道の付近の車両停止線が消えかけており、近隣の保護者からは心配の声が複数寄せられている。歩行者や横断歩道の存在を通行する車両に明確に知らせ、減速を促すことが必要である。		○			○		5	防災交通課 土木管理課 学校教育課				○	・啓発看板1枚設置を、今年度中に行う予定です。(防災交通課) ・カラー舗装につきまして、各小中学校から多く要望をいただいております。年々、要望箇所が増えておりますので、危険度や利用者数を踏まえ優先順位をつけて実施していくこととなります。特に危険を感じるポイントや状況をお示ください。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。	
東部中	4	市道	新規	東部中西50mの市道交差点(羽黒朝日五丁目)	・生徒が登校する時間になると、狭い道路に徒歩・自転車・送り迎えの自動車という3種の通行が混在する状況となる。その際、白線の消えているところが多いため、各生徒が路側帯を認識できておらず、路側帯に寄って通行しようという意識が低くなってきている。自動車のドライバーも含め、各通行者が路側帯をしっかりと認識できることが、事故を未然に防ぐことにつながると考える。 ※利用者は54名。					○		-	大山警察署 土木管理課				○	・本年度中に一時停止の「止まれ」表示を補修します。(大山警察署) ・今年度外側線の引き直しを実施します。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。	

令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表

資料1

学校名	要望順位	道路種別	要望種別	場所(住所)	現状報告 危険と考える問題点 《改善したい内容》	改善要望 (○をつけてください)					改修要望 《改善するために有効と 考えるハード対策》	前年 要望 順位	担当部署	担当部署からの回答					内容	アドバイザー助言		
						歩道整備	カラー化	外側線設置	横断歩道設置	看板設置				その他	歩道整備	カラー化	外側線設置	横断歩道設置			看板設置	その他
東部中	5	市道	新規	「味鹿」の交差点から「赤坂」の信号にかけての直線道路(羽黒堂ヶ洞)	・この道路は、見通しがよく、歩道も設置されているが、歩道横の雑木林が枯葉を大いに伸ばすため、生徒の通行の妨げになるとの連絡が毎年複数学校に寄せられている。市によって枯葉の剪定が適宜行われているが、枯葉の伸びは予想以上に早く、かつ広範囲に渡るため、日没が早い冬場は設置されている街灯の光を弱めてしまい、生徒が暗い道を下校していくことに危険を感じる。						○	—	土木管理課						・令和2年に照度が明るい街路灯へ取替を行っております。定期的に街路灯周辺の木々剪定も行っております。(土木管理課)	引き続き、安全指導を継続してください。		